

第18回つやまロボットコンテスト

駆け抜けろ1300年!!

美作国建国ロボコン

高校一般の部 Q & A

Q1：どうなるとフライングと判定されるのか

A1：審判による開始の合図前に、スタートラインをロボットが越えた場合にフライングと判断します。

Q2：同タイムの場合は勝敗はどう決まるか？

A2：予選においては、2回の記録の合計時間をもって順位を決定します。ただし、合計時間でも決着が付かない場合は、じゃんけんで順位を決定します。

決勝トーナメントにおいては1回のみ再試合を行います。それでも決着が付かない場合はじゃんけんによって勝敗を決定します。

Q3：ハードルの後ろの不整地は最初から走破しなければならないか

A3：最初からでなくても構いません。

Q4：操作者がフィールド内に身を乗り出して見て良いか

A4：他チームの妨害にならない限り構いません。

Q5：接地の定義はどうか？

→移動機構が接地していればよいか

→ロボットの一部分が地面に触れていればいいか？

A5：移動機構が競技フィールドに接していることとします。

Q6：中断の際は自動ロボットは停止させなければならないか？

A6：停止させる必要があります。

Q7：糸などでつながっている場合は分離扱いにならないか

A7：ロボットの骨組・土台が離れる構造を分離とします。

Q8：ロボットに高さ制限はあるのか

A8：ありません。ただし、会場床面からの天井高は約3200mm及び約2700mmです。

Q 9 : トンネルの構造はどうなっているのか

→トンネル内でロボットが停止した際簡単にロボットは取り出せるか？

→中身が見られるか

A 9 : トンネルは、上部を取り外せる（ふたのような）構造とします。木材を用いてトンネルを作成しますので、走行中の様子は確認できません。

Q 10 : 平均台の構造はどうなっているのか

→端部はどうなっているか

A 10 : 木材により製作します。端部については最小限度の角Rを付けます。

Q 11 : ハードルの強度はロボットがもたれかかっても大丈夫か

A 11 : ロボットがハードルを乗り越えるに堪えうる程度の強度は確保します。

Q 12 : フィールドにはレーンが存在しているのか

A 12 : レーンはありません。

Q 13 : 平均台を超える際 2 つ使用していいか

A 13 : 構いません。

Q 14 : 桜の枝に短冊をかけるのはどこでもいいか？また、タイミングについて指定はあるのか

A 14 : 短冊をかけるのは、どの場所でも構いません。

タイミングは「ハシゴ④」を通過した後です。（ルールブックを改定します）

Q 15 : 他のロボットが暴走などにより自ロボットが転倒させられた場合リスタートはどうなるか

→自分のリスタート権を使ってリスタートしなければならないのか？

→自分で起きられるようにしとかなければならないのか？

A 15 : 『他のロボットの暴走』は競技の進行に重大な支障がある場合に該当しますので、審判は、ホイッスルを吹いて競技を中断することになります。この場合、試合時間を計測する時計を止め、ロボットはすぐに停止し、審判の指示に従ってください。

審判の指示がない場合、ルールブック 4-8 の規定による取扱いをしてください。（ルールブックを改定します）

第2版による追記、ここから

Q16：平均台にさしかかろうとしているロボットがあるときに、横の平均台からアーム等を伸ばして平均台を2台使用して、そのロボットと接触した場合はどうなるのか

A16：審判の判断により、故意に他チームのロボットを転倒させる行為とみなされたら反則になります。

Q17：不整地は固定してあるのか

A17：固定してあります。

Q18：トンネルの中はカメラで確認してもよいのか

A18：構いません。

Q19：フライングの回数制限はあるのか

A19：フライングの回数制限は設けていませんが、何度も繰り返すと審判の判断により失格とみなされることがあります。
フライングを繰り返さないようにお願いします。

Q20：1つの枝に複数のチームが短冊を重ねてかけてもいいのか。その場合、後から来たチームが、先にかけていたチームの短冊を落としたらどうなるのか

A20：重ねてかけても構いません。短冊は枝の30mm以上奥にとどまれば成功なので、すでに枝にかかった短冊を他のチームが落としても問題ありません。

Q21：審判が試合を中断する場合は、全チームロボットを停止させるのか

A21：審判がホイッスルを吹いて競技を中断する場合（リスタートも含む）全チームのロボットを停止させます。

その他のロボットの転倒や、平均台のスタート位置に戻る場合には他のチームのロボットは停止することなく、競技は進行します。

Q22：ロボットはジャンプしてもよいのか

A22：フィールドを破損させなければジャンプしても構いません。

Q23：競技時間の計測者は複数いるのか

A23：計測者（タイマー）は競技チーム数と同じ人数います。

Q24：短冊は装飾により重量が増してもよいのか

A24：構いません。

Q 2 5：コントローラの台数は2台でもよいのか

A 2 5：操縦者が1人で、周波数がかぶる等他チームに影響を及ぼさなければ構いません。

Q 2 6：フライング後の競技時間は0（ゼロ）に戻るのか

A 2 6：戻します。

Q 2 7：スタート時のロボットの配置場所はどうやって決めるのか

A 2 7：参加チーム決定後、ザ・チャレンジ実行委員会において、高校・大学・一般等の別を考慮して、予選における対戦相手やスタート時のロボット配置場所を決定します。この際、1回目が端寄りの位置だったら2回目は中寄りの位置にするといった配慮もします。